

73

NAGAI LEBEN

第73期報告書

2021年9月1日から2022年8月31日まで

いのちの力になりたい。

 ナガイレーベン株式会社



ごあいさつ



代表取締役社長
澤登 一郎

日頃よりナガイレーベングループをご支援いただき誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大が始まり早3年が経とうとしています。未だ、第7波の終息の見通しが立っておりません。また、今年の2月にウクライナ、ロシアの戦争が始まりました。21世紀にこのような大規模で長期化が見込まれる戦争を誰が予見できたでしょうか。そして、世界的な金融引き締めに伴う急激な円安の進行など、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような状況下、当社グループは過去最高の売上高を達成いたしました。医療従事者様にとって必需品であり、いつかは置き換え需要が発生する白衣。外的環境に影響されにくい商材に感謝するとともに、医療従事者様のお役に立てる商品開発を通じていのちの力になる会社を目指してまいります。

最後に医療の最前線で戦っておられる医療従事者の皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。

輝きを未来へ。

2015 年 9 月にニューヨークで開催された「国連持続可能な開発に関するサミット」において、2030 アジェンダが採択されました。SDGs「Sustainable Development Goals」。すべての人たちにとってより良い世界をつくるのが目的です。限りある資源を有効活用して環境への負担を軽減するためにも、企業は持続可能な社会の実現に対する責任が問われています。ナガイレーベンは、「いのちの力になりたい」をスローガンに、メディカルユニフォームメーカーとして、お客様・地域社会・地球環境に貢献できる存在であり続けることを目指してきました。商品の多くが枯渇性資源に由来する素材を使用しているからこそ、限りある資源を有効活用し、環境への負担を軽減します。また、持続可能な社会の実現とは、地球環境の保全だけにとどまりません。地域貢献やアート文化活動を通じた社会との関わりにも根を張り、もっと人に深く、広く、人と健康のあらゆる分野へ活動の場を広げながら、より成熟した世界を目指しています。未来を信じて咲く花。そしてわたしたちに宿る未来を作る創造力。支えるのは自然の根底に流れる慈しみの心です。苦しみでさえ、喜びに変える、変わることはないあなたがたの働きに私たちは心からの敬意と感謝を捧げます。いのちの力になることをスローガンに掲げ、企業活動を推し進めている私たちの活動が、あなた方のささやかでも力になれることを願います。



あなたをあなたらしく。ブライトデイズ®

その人のありのままが輝くとき元気づけられます。

自分らしさとは、ナースの本当の美しさとは。

ありのままのナースの姿が患者さんの苦しみを和らげる。

白衣を通して、一世紀以上にわたり女性の美しさを追求してきたナガイレーベンの一つの答えです。

Bright daysはナガイレーベンと資生堂 ビューティークリエーションセンターのメイクアップアーティストが共につくる白衣の新しい物語です。





PRO-FUNCTION®

プロ・ファンクション®

EARTH SONG®

SDGsが叫ばれる前からナガイレベンは自然の力を敬い、サスティナビリティな自然に寄り添う白衣作りを心がけてきました。
糸が出来る過程にまで注意を払い、自然に親和性のある体に優しい再生可能な素材を使用しています。
アースソングには白衣がいのちをつなぐ環境そのものであってほしいと願う気持ちが託されています。

SDGs 取り組みの一つ、アースソングブランド



最高峰のウェア 4D+®



新しいナース像への挑戦。Beads Berry®



世界に親しまれるミッフィーブランド

連結業績ハイライト Business Highlight

第73期決算の概要

売上高	177億円	前年同期比 1.0%増
売上総利益率	44.4%	前年同期比 1.5ポイント減
営業利益	50億円	前年同期比 3.5%減
当期純利益	37億円	前年同期比 3.6%増
総資産	473億円	前年同期比 2.0%増
自己資本比率	89.2%	

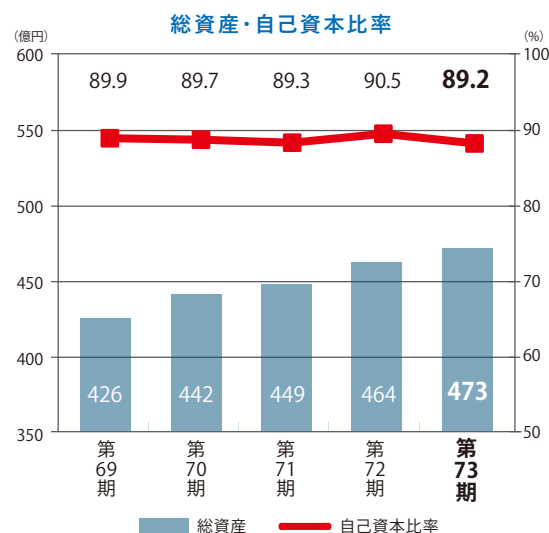
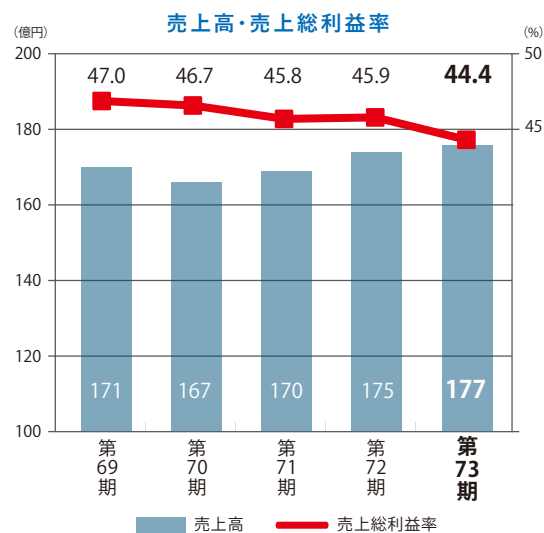
過去最高の売上高/当期純利益を達成

新型コロナウイルス感染症の再拡大、ウクライナ情勢の長期化、世界的な金融引き締めなど、先行き不透明な状況が続いております。医療・介護業界におきましては、新型コロナウイルスの重症化率の低下とともに、大きな混乱には至らず、比較的安定した状況で推移したものと見られます。

このような状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、更新物件や新規物件の獲得が計画通りに推移し、過去最高となる売上高177億45百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

生産に関しましては、世界的なコンテナ不足に端を発した海上輸送の不安定状況が継続しており、航空便を含めた物流体制の多様化を行うことで、納期遅延の最小化を図りました。また、急激な円安進行が発生し、先物為替の予約により影響の低減を図るなど、収益改善に努め、前年比1.5ポイントダウンの44.4%となりました。また、政策保有株式の保有見直しによる売却を進めた結果、投資有価証券売却益を計上し、過去最高の当期純利益37億78百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

主な経営指標



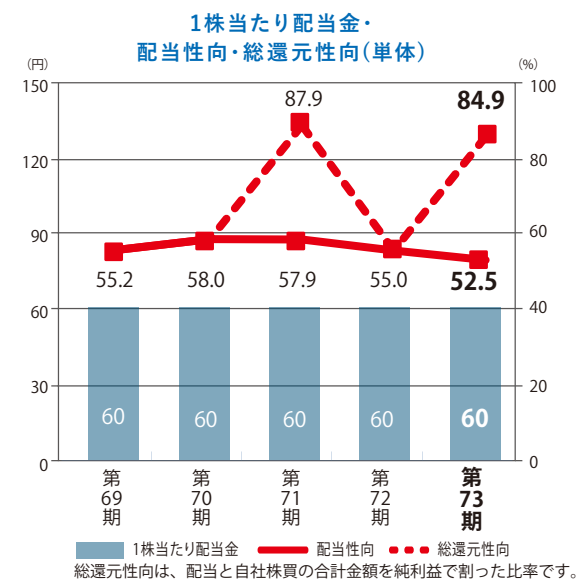
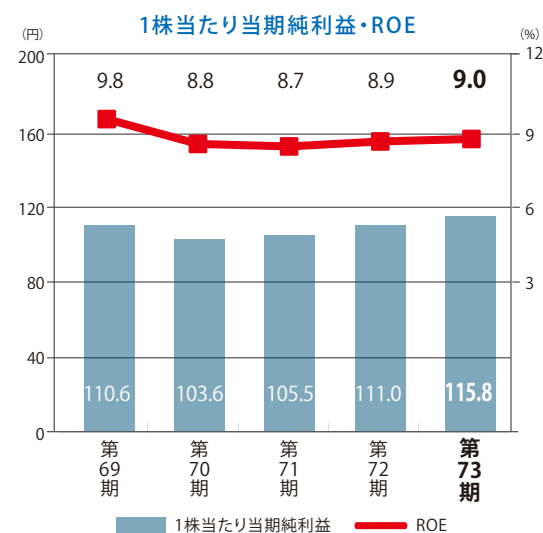
来期の業績見通し

売上高	182億円	前年同期比 2.6%増
営業利益	45億円	前年同期比 4.5億円減
当期純利益	31億円	前年同期比 6.1億円減

医療・介護業界ではコロナ禍の落ち着きを取り戻すものと見られますが、諸物価高騰の影響による医療・介護機関の経営圧迫が懸念されるところであります。このような状況下において、新コンセプトブランド商品を前面に打ち出し、市場を活性化するとともに更新物件の確実な受注とシェアアップを図ります。また、引き続き順調な増収が見込まれる患者ウェア、手術ウェアの周辺市場での増収に加え、海外市場では台湾においてEC直販を開始し、新たな販路を開拓いたします。以上、全市場において増収を計画し、4期連続の過去最高の売上高を目指してまいります。

経営課題と取り組み状況

売上拡大に向けた営業戦略 ● コア市場(ヘルスケアウェア・ドクターウェアなど)の付加価値戦略での深耕 ● 周辺市場(患者ウェア・手術ウェア)のシェア拡大 ● 海外市場の開拓: 当社ビジネスモデルを海外に展開
安定供給に向けた生産戦略 ● 国内生産体制の強化 - QR・小ロット多品種生産への対応力強化 - 人件費上昇に伴う加工賃UP ● 海外生産へのシフト推進 ● 物流ルートの多角化
収益力安定に向けた戦略 ● 高付加価値戦略による事業収益性の確保 ● 国内素材から海外素材への移管推進 ● 国内縫製から海外縫製へのシフト ● 為替リスクのミニマム化



連結財務諸表の概要 Financial Statement

貸借対照表

科 目	前期末	当期末
	2021年8月31日	2022年8月31日
(資産の部)		
流動資産	37,322	38,902
固定資産	9,106	8,445
資産合計	46,428	47,347
(負債の部)		
流動負債	3,338	4,048
固定負債	1,060	1,044
負債合計	4,399	5,092
(純資産の部)		
株主資本	41,676	42,229
その他の包括利益累計額	353	25
純資産合計	42,029	42,255
負債純資産合計	46,428	47,347
1株当たり純資産	1,278円84銭	1,309円83銭

株主資本等変動計算書

科 目	前期末	当期末
	2021年8月31日	2022年8月31日
株主資本合計(期首残高)	39,983	41,676
当期変動額	1,693	592 (注)
株主資本合計(期末残高)	41,676	42,229

(2022年8月31日現在)
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てています。
この財務諸表は主要な項目を表示しています。

Point

流動資産は、現金及び預金6億81百万円の増加、受取手形及び売掛金2億62百万円の増加、棚卸資産2億70百万円の増加により、前期比15億79百万円の増加となりました。

Point

固定資産は、投資有価証券7億26百万円の減少、建物及び構築物の減価償却費等による97百万円の減少で、前期比6億60百万円の減少となりました。

Point

株主資本は、前期比5億53百万円増加いたしました。株主還元として、19億71百万円の配当金の支払を実施いたしました。

(注)会計方針の変更による累積の影響額として39百万円の減少が別途発生しています。

損益計算書

科 目	前期末	当期末
	2021年8月31日	2022年8月31日
売上高	17,563	17,745
売上原価	9,504	9,863
売上総利益	8,058	7,881
販売費及び一般管理費	2,846	2,850
営業利益	5,212	5,031
営業外収益	130	147
営業外費用	36	39
経常利益	5,306	5,139
特別利益	0	338
特別損失	17	10
税金等調整前当期純利益	5,288	5,468
法人税等	1,640	1,689
当期純利益	3,647	3,778
1株当たり当期純利益	111円00銭	115円77銭

キャッシュ・フロー計算書

科 目	前期末	当期末
	2021年8月31日	2022年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,448	3,442
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,255	△471
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,971	△3,202
現金及び現金同等物の増減額	△767	△218
現金及び現金同等物の期首残高	6,446	5,679
現金及び現金同等物の期末残高	5,679	5,460

Point

過去最高の売上高を達成しました。売上総利益率は44.4%となり、前期より1.5ポイント低下しました。

Point

政策保有株式の保有意義の見直し結果による売却を進めた結果、投資有価証券売却益を計上しました。

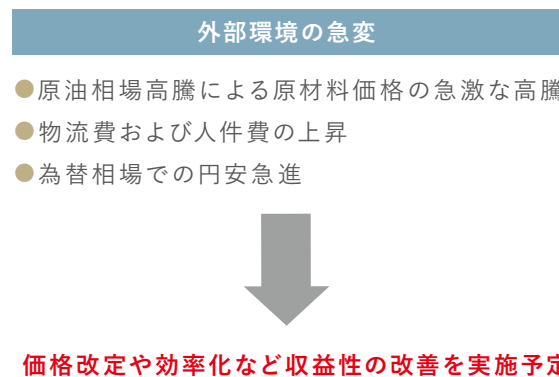
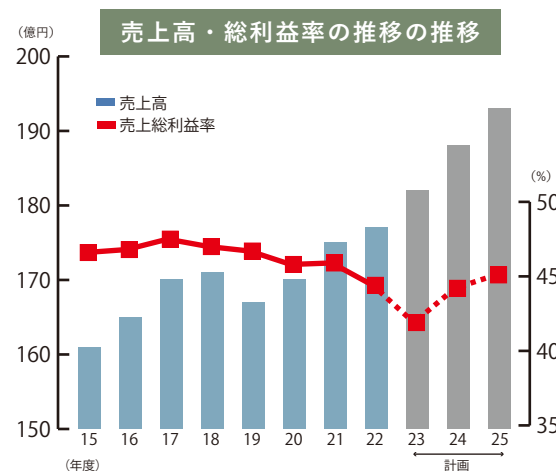
Point

営業活動によるキャッシュ・フローは34億42百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出等で4億71百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得(12億31百万円)、配当金の支払(19億71百万円)を行いました。これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は54億60百万円となりました。

事業戦略 Business Strategy

現在、世界的な情勢不安により、原油相場高騰による原材料価格の急激な高騰、物流費および人件費の上昇、為替相場での円安急進など、当社を取り巻く外部環境が急変しております。そのため、当社の原価高騰が発生し、利益率の悪化が見込まれます。

2025年までの中期経営計画において、このような外部環境の急変への対応として、価格改定や効率化等を進め、その影響を段階的に最小化し、利益率の改善に努めてまいります。



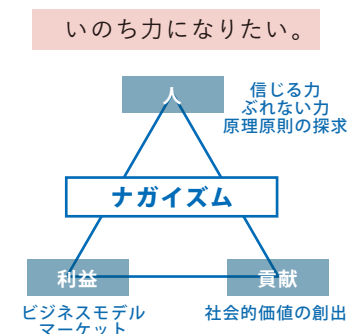
株主様への還元 Rewarding Policies

当社は、株主の皆さまへの利益還元の充実を経営課題のひとつとして位置付け、強固な財務体質の強みを生かし、配当性向を当社単体の純利益の50%以上、安定的な配当金額を継続とする方針で、必要に応じて自己株式の取得等を積極的に実施しております。

第73期の期末配当	自己株式の取得 / 消却の実施
1株60円 (単体・配当性向: 52.5%) (単体・総還元性向: 84.9%)	取得株式数: 61万株 買付総額: 12億円 (発行済株式数の1.60%) 自己株式消却: 250万株 (消却前の発行済株式総数の6.54%)

社会的責任への取り組み Social Responsibility

当社では、「人」「利益」「貢献」の3本柱を軸とする企業精神があり、それらを「ナガイズム」と称しています。「いのちの力になりたい」を理念に、それぞれの柱を大切にしながら、成長し続けてまいります。



新たな取り組みの紹介



災害支援ナースの活動への支援

大規模自然災害発生時、被災地で看護支援活動を行う災害支援ナース用のユニフォームを日本看護協会に無償提供いたしました。今回提供した専用のユニフォームは、洗濯耐久性に優れた仕様で、長期間使用しても色落ちや型崩れ、シワになることが少なく、被災地での管理に適したイージーケア商品です。また、災害支援ナースが着用することで、作業性の向上およびユニフォームの標識性によりナースであることが明確になり、現場での業務がスムーズに運ぶ効果が期待できます。



ナースのためのビューティー講座のオンライン化

資生堂とのコラボレーションによる、医療現場のナースにふさわしいメイクアップ等の動画をご紹介します。コロナ禍前では当社のいとなギャラリーに医療従事者の皆様にお集まりいただいていた実践講座を、オンラインでもご参加できるようになりました。



アートを通じた障がい者支援活動をサポート

障がい者の皆様の経済的自立、社会参加を目的とした支援を行う障害者アート活動に賛同し、公益財団法人日本チャリティ協会が推進するパラアート（障害者の芸術文化）事業に、オフィシャルサポーターとして協力しました。

2022年パラアート-ナガイレーベン賞 受賞作品
柳生千裕さんの「みつめているゾウ」

今後も、医療従事者の皆様をはじめ、多様で豊かな社会の実現とその持続に貢献してまいります。

会社概要 Corporate Outline

商 号	ナガイレーベン株式会社			(2022年11月25日現在)
本 社	〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目1番10号			
設 立	昭和25年7月20日			
資 本 金	1,925,273,475円			
社 員 数	124人(グループ従業員数524人)			(2022年8月31日現在)
役 員	代 表 取 締 役 社 長	澤 登 一 郎		
	常務取締役 経営企画本部長	斉 藤 信 彦		
	取締役 業務本部長	朝 井 克 司		
	取締役 企画本部長	山 本 康 義		
	取締役 営業本部長	新 谷 欣 哉		
	取締役 管理本部長	山 村 浩 之		
	取締役 常勤監査等委員	荻 野 和 孝		
	社外取締役 監査等委員	三 嶋 浩 太		
	社外取締役 監査等委員	野 口 恵 美 子 (新任)		

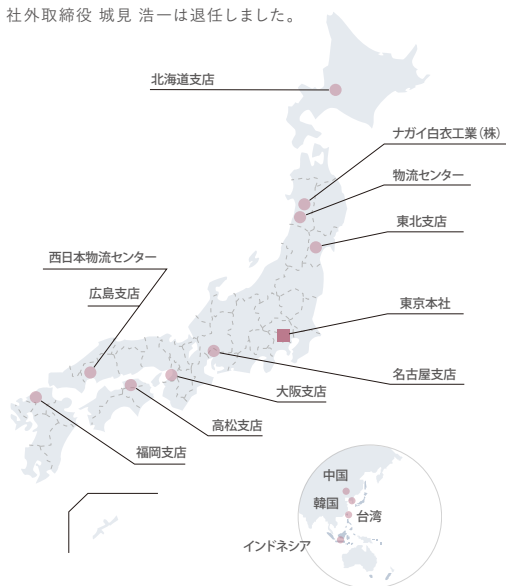
2022年11月25日開催の第73期定時株主総会終結の時をもって、社外取締役 城見 浩一は退任しました。

主な事業所

本社
ナガイレーベン物流センター
ナガイレーベン第2物流センター
ナガイレーベン西日本物流センター
北海道支店
東北支店
名古屋支店
大阪支店
広島支店
高松支店
福岡支店
台北支店

関係会社

ナガイ白衣工業株式会社



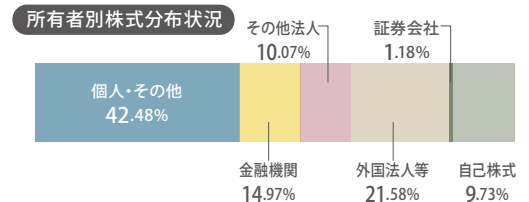
株式情報 Stock Information

株式情報

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数 (自己株式3,475,817株を除く)	32,260,183株
株 主 数	3,483名

大株主の状況		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
澤登 一郎	5,803,440	18.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,628,700	11.2
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	2,184,327	6.8
JP MORGAN CHASE BANK 380055	1,720,834	5.3
有限会社登龍	1,455,300	4.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,178,700	3.6
澤登 辰郎	1,050,200	3.3
RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT-CLIENT ACCOUNT	763,900	2.4
澤登 春江	623,600	1.9
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	615,599	1.9

注 1. 当社は、自己株式を3,475,817株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



株価の推移



株主メモ

決 算 期	毎年8月31日
定 時 株 主 総 会	毎事業年度末の翌日から3か月以内
基 準 日	毎年8月31日
公 告 掲 載 方 法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 公告掲載URL https://www.nagaileben.co.jp/

単 元 株 式 数	100株
銘 柄 コ ー ド	7447
上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社 〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号

同 事 務 取 扱 所	日本証券代行株式会社 本店 〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号
-------------	---

郵便物送付先・お問合せ先	日本証券代行株式会社 代理人部 〒168-8620 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 電話0120-707-843(フリーダイヤル)
--------------	--

- 各 種 手 続 の お 申 出 先
- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
 - ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
 - ・証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

いのちの力になりたい。



ナガイレーベン株式会社

本 社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-10 Tel.03-5289-8200 (代) Fax.03-5289-7935

営 業 本 部 Tel.03-5289-7891 (代) Fax.03-5289-7917

北海道支店 〒065-0017 札幌市東区北17条東3-2-19 Tel.011-741-1416 (代) Fax.011-741-1417

東北支店 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-8-11 Tel.022-256-1001 (代) Fax.022-256-1004

名古屋支店 〒461-0002 名古屋市東区代官町35-16第一富士ビル6F Tel.052-979-4300 (代) Fax.052-979-4301

大阪支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-17-26 Tel.06-6977-2221 (代) Fax.06-6977-3700

広島支店 〒733-0003 広島市西区三篠町2-17-16広本ビル1F Tel.082-509-3001 (代) Fax.082-509-3003

高松支店 〒761-0113 高松市屋島西町1897-17 Tel.087-843-2328 (代) Fax.087-843-2329

福岡支店 〒810-0013 福岡市中央区高砂2-11-11 Tel.092-526-7778 (代) Fax.092-526-7779

台北支店 台北市中山區復興北路178號8F之4 Tel.02-2545-5885 (代) Fax.02-2545-6149

ナガイレーベンホームページ <https://www.nagaileben.co.jp>

いとなギャラリーホームページ <https://www.itona.jp>



ナガイレーベン株式会社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。